

南部町国民健康保険税収納対策プラン

国民健康保険税の負担の公平性を確保し財源の安定化を図るため、下記のとおり収納率向上に向けた収納対策プランを策定し実施する。

1. 国民健康保険資格及び保険税賦課の適正化

- ①保険証更新時の制度周知パンフレットの配布やホームページ、広報等を活用し、資格の適正化と遡及適用者の縮減に努める。
- ②他保険加入者の把握に努め、早期に資格喪失届の提出を勧奨する。また、年金資格情報に基づき、資格喪失届勧奨通知を行い、早期の適用を図る。
- ③非自発的失業者の軽減措置等の減免制度を国保加入者への周知を行う。
- ④未申告者へ文書を送付し、申告勧奨を行う。

2. 収納業務の強化

- ①納税者の利便性を確保するため、平成23年度から休日・夜間も支払いが可能なコンビニ収納を実施していることをホームページ、広報等を活用し周知する。また、クレジットなどその他の収納方法についても、調査・研究を行う。
- ②効率的な収納業務と収納率向上を目指すため、口座振替を推進し国民健康保険新規加入者等の窓口手続き時に口座振替の勧奨を行う。

3. 滞納整理事務の推進

- ①滞納分析を行い、分析精度を高め、効率的な滞納整理を検討する。
- ②現年度分の滞納が滞納繰越の増につながることから、現年度の滞納を増やさないために、催告書により早期に滞納であることに気付かせ、金額が多くなるまでに納入勧奨を行う。
- ③滞納者には国民健康保険短期被保険者証を交付し、保険証交付時に納税相談を行うなど、接触機会の確保を図る。
- ④滞納者には、戸別訪問や電話催告等により納付指導を行う。
- ⑤高額療養費等の給付の申請時に、未納税へ充当を含めた納税相談を行う。
- ⑥滞納問題を全庁的な問題として捉え、関連各課間で滞納者の情報交換を図り、効果的な徴収を行う。
- ⑦生活保護申請が必要な状況にも関わらず、生活保護申請を行わない被保険者の発見に努め、資産状況、収入状況を把握して、生活保護担当と連携する。
- ⑧時効完成前に、納入勧奨を行うとともに、時効が完成したら迅速に不納欠損処理を行う。

4. 滞納処分の強化

- ①滞納管理システムにより、他の税目も含め滞納者との交渉記録を残すことで、一貫した納税指導体制をとり、徴収事務の効率化を図る。
- ②督促及び催告を行っても納付に応じない者に対し、差押予告を通知し、納付を強く促す。
- ③預金調査、給与や生命保険等の債権、動産・不動産財等の財産調査を行い、調査結果と納付実態により、財産が有る場合は差し押さえ、財産が無い場合は執行停止を行う。
- ④差し押さえた滞納者の財産は換価し、完納を目指す。徴収の見込みがたたない場合は、不納欠損処分を行う。
- ⑤滞納者が転出した場合、転出者の転出先住所地での居住調査を行い、居所不明者には早期に滞納処分を実施する。
- ⑥職員の資質向上を図るため、課内研修、滞納処分に関する事務処理研修を実施するとともに、町以外の研修へも積極的に参加する。